

「松本市教育大綱」策定にあたって

『学都松本』のアップデート → イメージと実態のギャップを直視する。
子ども（幼児から高校生）の教育を、大綱の中核として明確に位置づける。

《目指す学びの原則》

- <多様性> 一人ひとりの個性・能力・境遇に応じて最適な学びを提供する。
- <創造性> 創意工夫によって新たな着想や価値を生み出す学びを重視する。
- <主体性> 自ら問いを立て、情報を集め、答えを導き出す学びを支援する。

《重視するポイント》

基礎学力の底上げ（現代版・読み書きそろばん）
対話力・表現力の向上
多様な人たちへの共感
世界の動向や地球の未来に関心
情報端末とインターネットのフル活用

《検討する改革手法》

- パイロット校の導入
- 支援教員の大幅増員
- 外部人材の積極活用
- 市独自の教職員研修
- 特別支援教育の充実
- 「夜間中学」の設置
- 「非認知能力」の養成
- 幼児期からの英語教育
- 図書館の情報総合拠点化
- コラーニングスペースの設置